

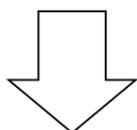
相談支援事業所連絡会事業計画進捗状況

期間：平成31年4月～令和元年8月

| 小牧市障がい者計画 | 目的・ねらい | 実施内容 | 実績、参加人数 | 参考：第3次障がい者計画 | 参考：第5期障がい福祉計画、第1期障がい児計画 |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------------------|
| 相談員の質の向上 | 障害者相談支援専門員の質の向上と人材育成 | (6/24) 研修会の開催 障害者差別解消法について | 対象者：障害福祉サービス事業者 参加者：60名 講師：手嶋雅史会長 | P29、P32(3)、P52(2) | P41(3) P52(5) P55(3) P64(1) |
| | ①困難事例のケース検討を行い、多くの相談員のアイデアで打開策を探る ②相談員一人ひとりの提案力、課題解決力の向上を目指す ③相談員以外の専門職にも参加を呼びかけ、一緒に検討していく | (7/12) 多職種事例検討会の実施 事例：高等部卒業後の進路について | 第1回 参加者：36名（内相談支援専門員20名） 事例提供者：メロディー相談支援事業所 三村龍馬 | P53(4) | P41(3) P52(5) P55(3) P64(1) |
| | ①他の関係機関との情報交換を行い、連携を図る ②相談支援事業所連絡会と各連絡会が検討すべき課題を共有し、一緒に課題解決に向けて取り組む | 各連絡会へのオブザーバー参加 | 各連絡会の状況や課題を把握、連携 | P41(2)、P42(6)、P53(4) | P40(1)⑤、(3)、(4)、P55(3) |
| | 相談支援専門員が課題を共有し、連携して課題解決に取り組む。 | (5/15) ・相談支援専門員同士の情報共有、意見交換 ・計画相談の実態調査 | 参加者：20名 計画相談実態アンケート集計結果の報告 ・特定相談支援事業所が委託相談支援事業所に求めている事などを把握、集約。 ・子どもの相談が増えてきている中で、子どものセルフプランが増えてきている。 | P52、P53(1)～(4) | P41(3)、P52(5)、P55(3)、P64(1) |
| | 小牧市の相談支援体制の課題を把握、情報共有し、相談支援充実に向けて検討していく。 | | | P52、P53(1)～(4) | P52(5)、P64(1) |

☆相談支援事業所連絡会課題点

- ①新規相談など相談件数は増えてきているが、相談支援専門員不足でセルフプランが増えてきている。（特に子どものケースが多い。）
 - ・計画相談支援事業所が増えない。計画相談では事業所の経営が成り立たない。
※市内相談支援専門員数：委託相談15名、計画相談7名（9/1現在）
 - ・委託相談支援事業所が計画相談に追われている。
- ②委託相談支援事業所の役割が果たせていない。計画相談支援事業所へのサポート体制が確立されていない。
- ③多問題家族を抱えている中での多職種（医療や介護、行政等）との連携が必要になってきている。
- ④一人ひとりの相談支援専門員のケアマネジメント力（面談技術やアセスメントの取り方）の向上が発展途上。相談支援体制の強化は必要。



- ・基幹相談支援センターの必要性 ⇨ 委託相談支援事業所で検討
- ・相談員同士相談できる場づくり ⇨ 相談支援事業所連絡会の意見交換、委託相談支援事業所の計画相談支援のあり方を検討